

「父と子と聖霊によって」

(ヨハネによる福音書 14:23-29)

主イエスの言葉は勝手に語られた自分の言葉ではなく、「父のもの」です。主イエスは「わたしは、あなたがたといたときに、これらのことを話した」と言われます。この箇所を直訳すると「これらのことを わたしは語った あなたがたに あなたがたのそばに 留まりながら」となります。み言葉は「あなたがたのそばに留まりながら」語られたのです。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。」と主イエスは言います。主イエスを愛し、そばに留まって語られたみ言葉を聴き、み言葉に留まるとき、神と御子が愛し、一緒に住んでくださいます。

主イエスが天に戻られた後は、弟子と主イエスは聖霊によって繋がれます。「弁護者、すなわち父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたした話が話したことをことごとく思い起こさせてくださる」のです。わたしたちが聖霊の働きを信じ、み言葉を聴こうとするなら、主イエスがそばで語られたようにみ言葉を聴くことができます。「わたしは去って行くが、また、あなたがたのところへ戻って来る」と主イエスが言われたことは、わたしたちがこの聖霊によって教えられ、み言葉を聴くことで実現するのです。

聖霊を通して語られる主イエスのみ言葉に留まるとき、神と御子がわたしたちのところに住んでくださいます。父と子と聖霊なる神が一つになってわたしたちを愛し、そばで語ってくださるから、わたしたちはみ言葉によって守られ、導かれ、心を騒がせず、愛し合い、喜んで生きることができます。